

プロジェクト報告書

公益財団法人大学コンソーシアム京都インターンシップ生

福田 純子・ジェームズ デービッド・佐藤 龍之介・

日下 奈名子・木下 理郁子・谷口 結衣子・中谷 健太

目次

- I. はじめに
 - II. 私たちが取り組んだプロジェクト
 - III. 全体としての活動
 - IV. 各班の活動内容・成果
 - V. おわりに
- <別紙1～4>

I. はじめに

この報告書の趣旨は、私たちがインターンシップで携わったプロジェクトの活動の記録および報告である。そのため、私たちが取り組んできた具体的な活動内容やその成果物を重点的に扱っている。また、その前提として、私たちが取り組んだプロジェクト自体の概要等についても触れている。

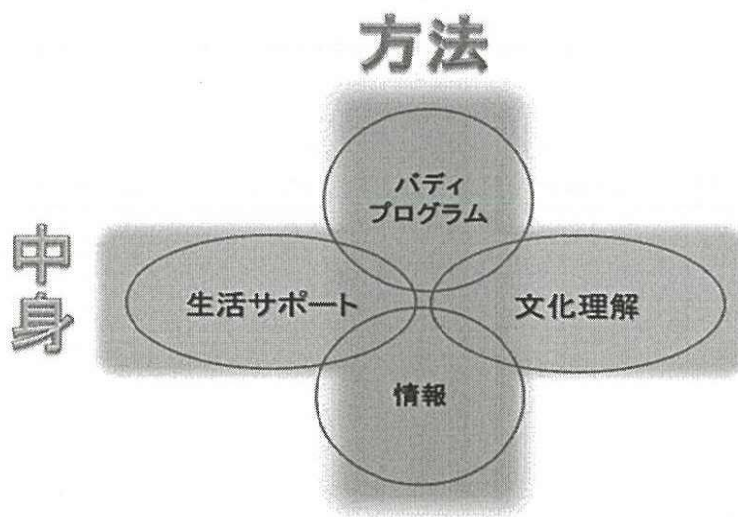
II. 私たちが取り組んだプロジェクト

私たちが取り組んだのは、公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が連携して開発している、2015年実施予定の短期留学生受入プログラム「Experience Kyoto (仮)」の一部の企画である。このプログラム開発の背景として、京都市は留学生の誘致に積極的に乗り出しており、2014年3月現在の受入人数は約7000人であるという現状を踏まえ、2017年に留学生受入数を1万人とすることを目標に掲げている。その目標を達成するための施策の一環として、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力をアピールし、将来における留学生獲得を行うために、この受入プログラムは開発されている。私たちインターンシップ生は、このプログラムを運営する上で必要な、留学生サポートの企画に取り組んだ。

III. 全体としての活動

私たちが企画するプログラムが対象としているのは、日本に興味があり、短期間ではあるが実際に日本で生活し日本のことについて勉強してみたいと考える海外学生である。また、その目的は、留学先としての京都の魅力をまずは知ってもらうことにある。そこで、「留学生にとって必

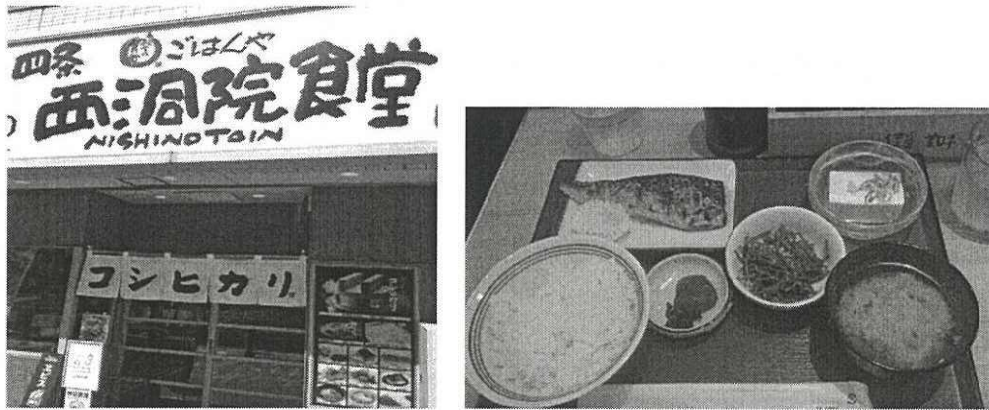
要なサポートとは何か」また、「留学先としての京都の魅力とは何か」を考えるにあたり、今現在京都で勉学に励み、生活をしている留学生4人に、京都での生活についてのインタビューを行った。留学生に二人ずつのグループに分かれてもらい、私たちもその日出席していた六人のメンバー間で三人ずつのグループに分かれ、二組に分かれてインタビューを行った。おおよその時間を設定して、時間になればグループを交換して再度インタビューを行う。その際に、なぜ京都を留学先を選んだか、日本の生活で困ったこと、京都で実際に訪れて感動した観光地など、今後の活動に活かせる貴重な意見を聞くことができた。二組の間で留学生から聞き出した意見を出し合い、そこから留学生が何を求めているか、京都のどのような所に魅力を感じているのか、留学に訪れる前に必要なサポートについて、また、京都に到着してからはどのような支援が必要なのか、などといったことまで話し合った。その結果、私たちはプロジェクトに留学生の「生活サポート」と「文化理解」という2つの中身に対し、「バディープログラム」と「情報」という2つの方法からアプローチすることとした。以下の図はそのイメージである。



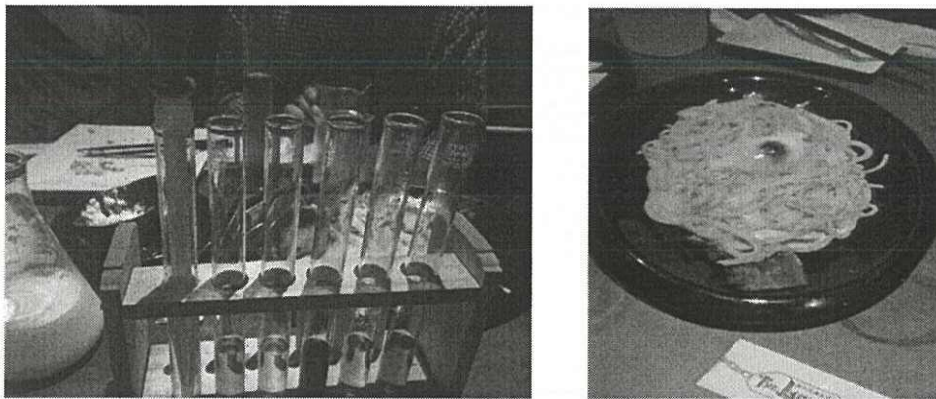
サポートする中身としては、慣れない京都での生活面でのサポートと、京都の文化を体験してもらい、京都の魅力を知ってもらうためのサポートをするという、文化面でのサポートである。そのサポートをする手段として情報提供や、バディープログラムを利用しようと考えた。

京都に滞在する留学生にインタビューを行った際に、多くの留学生が京都の観光地や街並みに魅力を感じていることが分かった。そのため、おすすめの観光地や、観光地までのアクセス方法、観光地の巡り方などの情報を提供することとした。その際に留学生にはバディーと共に行動してもらい、バディーから京都の歴史について教えてもらうことで、より京都の文化理解を進めると考える。しかし、そのためにはバディーの英語力が必要であることが必須となる。実際にインタビューを行った留学生からもバディーに対する英語力に対して不満を持っているという意見があった。そのため、バディーの募集する際の条件や英語力をはかる方法なども話あう必要があることがわかった。また、留学生たちは歴史的な観光地だけでなく、動物と触れ合うことが出来るアニマルカフェにも興味を示していた。これも、海外にはあまり存在しない、日本特有の文化であるといえ、留学生に体験してもらおうと考え京都に存在するネコカフェをピックアップして紹

介している。また、日本の定食を体験することができる西洞院食堂や、海外のバーやパブとは違った、日本の居酒屋であり、特に独特な雰囲気を持つ、ロックアップという監獄居酒屋などといった、日本文化を楽しめるような具体的なお店も紹介しようとする。



西洞院食堂の様子



監獄居酒屋ロックアップの様子

京都で生活するうえでのサポートとしては、例えば、京都市内の移動方法(バス・電車の乗り方・切符の買い方)について、ATM でのお金の引きおろし方、日本の標識の意味、簡単な日本語、英語使用可能な病院、電圧器についての情報などを集めることとした。また、留学生へのインタビューでは、移動手段として自転車を使用することを好む、という意見を聞いたので、自転車をレンタル出来る店についての情報も取り入れることにした。あわせて、主な京都市のマップを英語表記で作成し、マップ内に存在する観光地や、美術館、博物館などの中から、留学生に紹介する箇所を選び出し、その箇所についての情報を付け加えていく作業も行った。これらの情報をまとめて一つのパンフレットを作成し、留学生が日本に訪れた際に配布し、生活面でのサポートをしようとする。

IV. 各班の活動内容・成果

私たちは夏休み中の活動計画を立てるにあたり、活動をより円滑に進めるために、留学生にとって必要な「情報提供」を考える班 (A) と「生活サポート」について考える班 (B) に班分けを行った。以下が各班の活動内容、およびその成果物である。

A. 情報提供班 (ジェームズ デービッド・佐藤 龍之介・木下 理郁子・谷口 結衣子)

情報提供班は、留学生がどこにでも持ち運べ、必要な情報をその時々で見ることが可能な MAP 付きのパンフレットを作ることが留学生のサポートにつながると考えた。パンフレットに載せる情報として以下のものを挙げ、主にこれらの情報収集を行いまとめ上げ、夏休み中にパンフレットを完成させた。

- ・簡単な日本語フレーズ
- ・標識や地図記号
- ・公共交通機関 (バス、地下鉄等)
- ・レンタサイクル
- ・Wi-Fi
- ・ATM
- ・病院や電圧等の諸注意
- ・京都の地図

まず、簡単な日本語フレーズでは、あいさつや日常会話、自己紹介として「こんにちは」「ありがとうございます」「はじめまして」等を掲載するとともに、京都ならではの言葉、方言 (「おきばりやす」「おおきに」) を盛り込んだ。これによって言葉の面から京都文化に触れることが可能となる。次に、標識と地図記号は街で見かける重要とされる赤い標識を主に掲載。留学生へのインタビュー時に、自転車を利用する、もしくは利用したいという意見を得たことにより自転車利用者に対する注意標識も必要な情報として掲載。これによって今回の短期留学プログラムにおいても自転車利用者ができることを想定し、レンタサイクルの情報を京都駅や宿泊先付近で探し、MAP にも掲載。さらに私たちの経験から公共交通機関の利用には多少異なりがあるとし、バスや地下鉄の乗り方など海外と比較し説明したものを掲載。次に Wi-Fi だが、日本では無料の Wi-Fi スポットがあまり普及しておらず、留学生にかかわらず多くの外国人観光客らにとっても必要とされる情報である。しかし京都市ではすでに時間制ではあるが無料の Wi-Fi スポットが設置されており、利用エリアも多く、この情報を利用することとした。しかしさすがにこれだけでは利用できない場所も出てくるため、ポケット Wi-Fi のレンタル情報を加えた。これは日本への到着と同時にその場で借りられるというメリットから空港でのレンタルに絞った。次に ATM だが、これはメンバー自身、まれにはあるが ATM で外国人が困っているところを目にすることもあり、海外カード対応の ATM がどこで利用できるか、使い方も含め必要と考えた。地域に必ずといって良いほど存在する日本郵便 (ゆうちょ銀行) と京都市が提携しているセブンイレブン (セブン銀行) を今回取り上げた。最後に諸注意として万が一の時の病院の場所や電圧 (コンセントの形状) を掲載。これらの情報と並行して京都全体の地図を 6 分割し、それぞれのエリアにある主な観光地の紹介もそれぞれ掲載した。

これらすべての情報が入ったパンフレットが留学生の手元にあれば常に彼らのサポートが可能である。

B. 生活サポート班（福田 純子・日下 奈名子・中谷 健太）

生活サポート班が行った活動は、大きく分けて以下の4つである。

- ・ 1 day ツアーの企画
- ・ ホテル周辺のマップ・ツアーサンプルの作成
- ・ Welcome Party と Farewell Party の企画
- ・ 学生バディ募集要項の作成

まず、私たちは日本の文化に触れながら留学生間やバディとの交流を深めることを目的とし、1 day ツアーの企画を行った。留学プログラム第一週の土曜日をこれに充てる。留学プログラムには、主に欧米からの留学生をターゲットとした夏期のプログラムと、主にアジア・オセアニアからの留学生をターゲットとした冬期のプログラムがあり、それぞれ夏期用に BBQ の企画を、冬期用に鍋パーティーの企画を行った。企画内容を考える際には実際に BBQ 会場に足を運び、ツアー当日の流れを想定しながら注意すべきことや必要なものをまとめ、タイムテーブル等の作成も行った。企画内容は<別紙1><別紙2>に示す。

次に行ったのが、ホテル周辺のマップ・ツアーサンプルの作成である。資料の表面には、留学生が実際に宿泊するホテル周辺のオリジナルマップを、ホテルに設置されていた地図を参考に手書きで作成した。特に留学生が好みそうな店や施設のみに情報絞って作成したので、この地図は留学生にとって実用的であることは間違いない。裏面には、京都の名所をめぐるツアーサンプルを3つ掲載した。主に八坂神社・高台寺・清水寺をめぐる「祇園コース」、主に嵐山・北野天満宮・金閣寺をめぐる「嵐山コース」、主に伏見稲荷大社・京都タワー周辺をめぐる「伏見稲荷コース」である。ここには、留学生がスムーズに移動できるよう、交通手段については何線の電車に乗る必要があるか・何番のバスに乗れば目的地に着けるか、といったことも記載している。

続いて取り組んだのが、Welcome Party と Farewell Party の企画である。これらの企画にあたり、私たちが実際にインタビューを行った留学生の意見や、自分たちが海外に短期留学に行ったときの経験などを重視した。これらの企画をまとめたものが<別紙3>である。

そして私たちが最後に取り組んだのが、学生バディ募集要項の作成<別紙4>であった。

V. おわりに

留学生が実際にプログラムを利用するのは来年であり、企画内容が実現するのはまだ先のことである。そのため、ここまで紹介してきた企画内容・マップ・パンフレット自体が、私たちが取り組んできたことの成果物であるといえる。しかし、将来留学生が、私たちが企画したイベントや作成したパンフレット・マップに実際どのような反応を示したのかについてフィードバックを頂くことがあれば、またそこから成果を見出すことができるだろう。

<別紙1>BBQ企画書

①目的

留学生間、留学生バディー間の交流を深める

日本式のバーベキューをすることで日本の食文化に触れてもらう

楽しんでもらう

②概要

日時：2015年7月25日（土） 午前9時～午後4時頃

場所：大森リゾートキャンプ場 京都府京都市北区大森東町 340-2

③対象

留学生 25名（主にヨーロッパ出身）と日本人学生バディー25名 計 50名

④費用

1人 4,550円（送迎費、バーベキュー食材、器具、流しそうめん代込）

合計費用 227,500円（50人分）

⑤タイムスケジュール

9:00 京都駅または京都市内の指定箇所に集合→バス2台で大森リゾートキャンプまで送迎

10:00 大森リゾートキャンプ場到着、バーベキュー開始

13:30 流しそうめん開始

15:00 大森リゾートキャンプ場出発

16:00 京都駅到着

⑥その他

・大きめのゴミ袋（指定なし）をペットボトル、缶類、アルミホイル、生ごみ、燃えるごみ用に準備する

・晴天の場合川遊びも可能なので着替えやタオルを持参したほうが良い

・雨天の場合は川遊び、流しそうめんは中止（バーベキューは可）

・宗教上の理由で食べられないものがある人は追加で食材を持ち込むことが可能

・オプションでマス釣り（1人 1,200円 3匹まで）ができ下処理をしてバーベキューで食べる
ことができる

・飲み物はお茶が提供されるが余分に持っていく方が良い

＜別紙2＞鍋パーティー企画書

①目的

- ・日本の食文化に触れる
- ・留学生間、バディ留学生間の交流を深める
- ・楽しんでもらう
- ・日本の日常生活に親しむ

②概要

日時：2016年1月16日（土）午前9時～午後17時頃

場所：京の食文化ミュージアム あじわい館

京都市下京区堂寺南町130番地京都青果センター3階

③対象

留学生（アジア・オセアニア出身）25名 日本人バディ25名

④費用

土鍋レンタル代 8,680円（鍋10個＋送料込）

あじわい館調理室レンタル代 12,340円（9時～17時）

食材費 50,000円（1人 1,000円）

計 71,020円（交通費を除く）

⑤タイムスケジュール

10:00 二条駅に集合→近くのスーパーで5人ずつの班に分かれて各自の食材を購入
（サンディ 京都二条店、ライフ 二条駅前店、コープ 二条駅店）

11:30 あじわい館集合

12:00 調理開始→鍋パーティー開始

15:00 片づけ開始→解散

その他

- ・土鍋を大学コンソーシアム職員があじわい館前で受け取る（午前9時に到着予定）
- ・あじわい館内での飲酒は禁止
- ・フキンは事前に準備する
- ・ごみは分別し入りきらないものは持ち帰る

<別紙3>Welcome Party 企画

①目的

[Welcome party]

自己紹介を通して、お互いを知る。
プログラム全体の流れを把握してもらう。

[Farewell party]

京都の魅力をアピールし、京都への本格的な留学を検討するきっかけを提供する。
日本滞在最後のイベントとしてバディーとの思い出を作ってもらう。

②日時

[Welcome party]

2015年7月19日 (夏季)
2016年1月17日 (冬季)

[Farewell party]

2015年8月1日 (夏季)
2016年1月31日 (冬季)

③場所

キャンパスプラザ京都 2F ホール

④対象

日本への留学に関心のある海外の学生、日本人バディー

⑤内容

[Welcome party]

(オリエンテーション終了後)

- ・パンフレットとホテル周辺マップの簡単な説明
- ・10人(留学生5人日本人学生5人)のグループに分かれて自己紹介
- ・フリータイム
- ・ホテルから翌日の大学へのアクセス方法の説明

[Farewell party]

- ・フリータイム(色紙渡し、プログラムを終えてのスピーチ、記念撮影等)

<別紙4>日本人学生バディ募集要項

活動内容：

日本語の話せない海外からの留学生を英語でサポートできる方を募集しています。

BBQ(夏季)、鍋パーティー(冬季)に参加し、留学生との交流を通して京都の魅力を伝えます。「大学のまち京都、学生のまち京都」の魅力をアピールし、京都に本格的な留学の検討をするきっかけを作る手助けをしてもらいます。

夏季は北米・ヨーロッパ、冬季はアジア・オセアニアの留学生が参加予定です。休日や放課後に個人的に交流することも可能ですので、異文化交流、英語を使いたい学生は奮ってご応募ください。

条件：

- ・ 京都市の大学生
- ・ 国際交流に興味があり、日常会話程度の英語が話せる学生
- ・ 2015年7月19日(日)、25日(土)、8月1日(土)と、期間内の平日プログラム(午後)に1週間に1日以上参加できる人。(夏季)
- ・ 2016年1月17日(日)、23日(土)、31日(土)と、期間内の平日プログラム(午後)に1週間に1日以上参加できる人。(冬季)

活動期間

(夏季) 2015年7月19日～8月1日

(冬季) 2016年1月17日～1月31日

募集人数：25人